

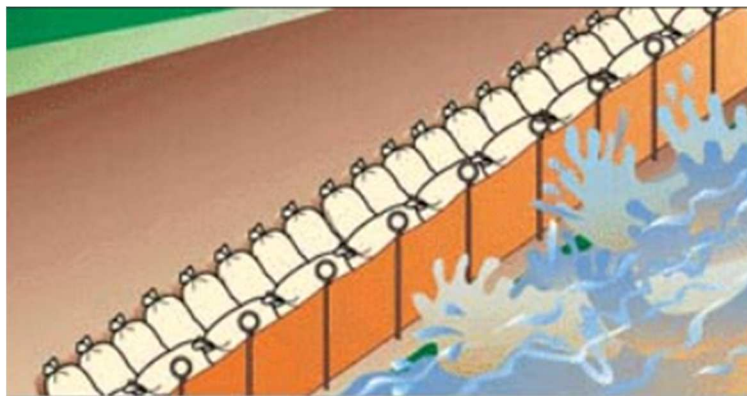
# 土のう積み水防訓練に参加しました

令和6年5月12日（日）、亀山市は関町木崎の鈴鹿川勸進橋上流左岸河川敷で令和6年度水防訓練を実施しました。

参加者は亀山、関消防署職員、市消防12分団員と女性分団、少年消防クラブ員のほか、県建設業協会亀山支部員ら351人でした。

この訓練は、水防に関する知識と技術、基本的な水防工法を習得し、風水害に備えて迅速な活動ができるよう、毎年梅雨前に実施されています。

水防工法はいくつかありますが、今年は「改良積み土のう工法」を実施しました。



改良積み土のう工法は鋼杭と防水シートを使って、積み土のう工法を改良・強化したものです。水のあふれ防止対策として重視されています。

市長のお話にもありましたが「氾濫、越水、冠水などの浸水害が『いつ、どこで』発生してもおかしくないほど全国各地で被害が発生しています。



訓練を通じて、水防技術と備えの向上を図り、台風・大雨等による大洪水時に迅速・的確に対応できるようにしたいです。